

2012.4.10

2012日中科学技術シンポジウムのご案内

公益社団法人 日本技術士会近畿本部
2012日中科学技術交流実行委員会

日本技術士会近畿本部は、過去30年来、中国の上海市科学技術協会、上海市工程師学会、同済大学他との交流を続けてきました。特に2006年以降毎年、中国(上海)と日本(大阪)で



交互に、科学技術シンポジウムおよび施設見学の交流を実施しており、今回で7回目となります。

一昨年(2010年)は、50余名の交流団で訪中し、日中科学技術交流シンポジウムの共同開催と上海万国博覧会を視察し、新たに同済大学環境科学與工程学院と相互協力協定を締結しました。

昨年(2011年)は、中国から60余編の論文参加と40余名の来日、総数110を超える参加を得て大阪で成功裏に開催することができました。

今年(2012年)は、日中国交回復40周年という節目でもあり、より意義深いものとなります。

今回も、上海で日中共同開催しますが、このたび2012年の日中交流を企画するに当たり、当番である中国側から基本テーマとして昨年の議論や提案をさらに深化させるため「持続可能な社会を目指して」Part 1 として旨提案をいただきました。

エキスカージョンは、最近国際的にも注目を集めている崇明島を予定しております。

詳細は未定ですが、崇明島は上海市の長江河口に位置し、台湾島、海南島に次ぐ三番目に大きい島で、且つ世界一大きい沖積島です。面積は約1267 km²と沖縄本島とほぼ同じ大きさで、上海市総面積の約6分の1です。

崇明島は、長江から流れてくる土砂により形成され、唐時代(西暦618年頃)に海面から姿を現し始め、今の崇明島ができました。現在も、絶え間なく流れてくる土砂の影響で、崇明島の東端は年に約150メートル延びており、「成長し続ける島」と呼ばれています。また、島の東部にある崇明東灘湿地は鳥類自然保護区と中国国家地質公園にもなっていて、2002年1月にはラムサール条約登録地となりました。



2002年、上海市は、『崇明島域全体発展計画』を発表しました。この計画は、島を5つの区に分けるというもので、生態モデルやレジャースポーツを主体にした「景観区」、森林の中でのリゾート、事務、レジャー休暇を主とした「中央森林区」、テーマ樂園と生態農業を主とした「樂園観光区」、島の住民と産業が集まる場所の田園式の「中心区」、国際会議、浜湖でのリゾートを主とする「湖を望むリゾート区」です。

さらに、2005年には上海市による『崇明三島総合開発計画』、2009年に上海長江大橋と上海長江トンネルが開通、崇明生態島建設計画（2010-2020）では、生態島を上海の今後の発展の備蓄エリアと位置づけ、ニューヨーク州のロングアイランド島、カナダのバンクーバー島、香港の米埔湿地などの発展モデルを分析し、『崇明生態島の建設科学技術を支える実施案』を作成

- ・ 低炭素コミュニティの建設
- ・ 低炭素農業の発展
- ・ 新しい観光発展モデルの探求

の3点から低炭素社会の実現に向けた実践に取り組み、国内外の技術サポートや国内の政策支援のもとでインフラや施設建設、農業、産業、観光の分野において低炭素発展を実現し、従来の工業化を乗り越えて、生態型の現代的な発展、世界のモデル都市（エコライフモデルシティ）を目指しています。（美しい自然環境のもとで経済発展させ、都市と農村が一体化した、「都市生態島区」）



折しも日本は、2011.3.11東日本大震災と原発事故を経験しました。復旧・復興を図る上でもグローバルな視点が必要です。ぜひこの日中交流にご参加くださるよう、ご案内申し上げます。

1 テーマについて

主テーマ： 「科学技術の創新と都市の持続可能な発展」

特別講演 崇明島低炭素国際実験自然共同区について（仮題）

趣旨：上海市を持続的に発展させるために、今崇明島で様々な実験が行われている。この内容について専門家が講演する。

基調講演 日本側 東洋哲学に根差した環境保全への道筋（仮題）

大阪大学大学院工学研究科教授 西嶋茂宏先生

中国側 未定

分科会：（発表者調整中 日本側、中国側 各3名/分科会）

第一分科会：都市の公共安全とリスク管理

- ・都市の総体計画と公共安全管理対策
- ・都市のインフラストラクチュアと総合防災能力
- ・都市の発展を支える電力供給・給水・排水システム及びその工程技術
- ・都市の地下鉄運営における安全及び防災と救災
- ・大型及び重要建築物の防災に関する主要技術及び災害発生後の処理技術
- ・建設工程における超大型地震災害に備える総合応用技術
- ・全員参加による都市公共安全管理への有効な手法 等

第二分科会：新エネルギーの開発と有効利用

- ・新エネルギー開発の重要性と必要性
- ・原発の設計、安全な核設備の製作
- ・風力発電の利用とその主要技術
- ・大型風力発電基地の建設
- ・太陽エネルギーの研究開発と設備技術
- ・コンポスト発電について
- ・バイオマスエネルギー、地熱エネルギー、潮汐エネルギー等の合理的な開発と利用 等

第三分科会：省エネ、排出削減に関する主要技術と対策措置

- ・地球気候変動に対応する省エネ、排出削減
- ・エネルギー多消費型大型設備の省エネ、排出削減施策
- ・地球温暖化防止に対応する相応技術（CO₂の排出削減、CO₂の地中埋設等）
- ・省エネ建築設備の運行管理と運行効率
- ・建築に関わる各種エネルギーの利用方法とその比較
- ・石炭、石油、天然ガス等一般エネルギーの清浄化措置
- ・エネルギー契約の管理 等

2 実施日程

2012年6月21日(木)：シンポジウム

会場：上海科学会堂（上海市南昌路57号）

時間：午前 基調講演 特別講演

午後 分科会

夕刻 レセプション

2012年6月22日(金)～23日(土)：エキスカージョン（オプション）

行き先：崇明島

参加申込は、別紙をご利用下さい。（申込締切り 2012年6月11日）

3 主催、後援

主催：上海市科学技術協会、上海市工程師学会、公益社団法人日本技術士会近畿本部

後援：上海市科技發展基金会、上海市留日同学会、大阪府、大阪市、

大阪大学上海教育研究中心、



参加申込書
(上海在住一般参加者用)

日本側主催 (公益社団法人)日本技術士会近畿本部
後援 大阪府 大阪市 大阪大学上海教育研究中心

第7回 日中科学技術シンポジウム
～科学技術の創新と都市の持続可能な発展～

日時: 2012年6月21日(木) 9:00～20:00
場所: 上海科学会堂(上海市南昌路57号)

申込者

氏名・国籍	氏名		国籍	
勤務先				
役職				
所属学会等				
郵便番号・住所				
TEL/FAX				
e-mail				

出席会合	時間	種別	分科会内容	参加(○印)
	午前	基調講演・特別講演		
	午後	第一分科会	都市の安全とリスク管理	
		第二分科会	新エネルギーの開発と有効利用	
		第三分科会	省エネ・排出削減に関する主要技術と対策措置	
夕刻	レセプション			

参加費: 800円 (資料代、昼食代、レセプション参加費を含む。レセプション不参加者は500円)
当日会場受付にてお支払い下さい。

参加を申し込まれた方には、後日詳細プログラムをお送り致します。

◎エキスカーションに参加ご希望の方は、下記までお問い合わせください。
それぞれの行動パターンをお伺いした上、詳細のご案内を差し上げます。
一人部屋1泊の場合、すべて込みで約1000円の見込みです。

【お申込・お問い合わせ先】
日本技術士会近畿本部 上海在住 江村和朗
上海携帯: 131-2237-6557 日本携帯: 090-7967-6927
e-mail: emurakz2002@yahoo.co.jp
上記 e-mailにてお申込み下さい。

何かコメントがあれば自由にお書き下さい。